

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2001-95995(P2001-95995A)

【公開日】平成13年4月10日(2001.4.10)

【出願番号】特願平11-282239

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

取付基板に開設した開口部に、該開口部を閉塞可能な開閉板を回動自在に軸着し、該開閉板の駆動源としてのソレノイドを備え、該ソレノイドの駆動により開口部へ遊技球を受入れない状態と、開口部へ遊技球を極めて受入れ易い状態とに変換可能な弾球遊技機の入賞装置において、

前記ソレノイドは、コイルと、該コイルを支持すると共に、コイルより発生する磁束の磁気回路を形成するフレームと、前記コイルに有する中空部を挿通させて設けられた出力軸と、前記出力軸の端部に取付けられた回転板と、該回転板の外周側と対応するフレームに密着させ、且つ適宜の間隔を存してそれぞれ配置された磁極面の極性が異なる複数個の永久磁石とを備え、

前記回転板の回転範囲を規制し、且つ前記各永久磁石の磁気中性点より回転方向にずらせた位置に設けられた回転板ストップを備えたことを特徴とする弾球遊技機の入賞装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題に鑑み提案されたもので、請求項1記載の弾球遊技機の入賞装置は、取付基板に開設した開口部に、該開口部を閉塞可能な開閉板を回動自在に軸着し、該開閉板の駆動源としてのソレノイドを備え、該ソレノイドの駆動により開口部へ遊技球を受入れない状態と、開口部へ遊技球を極めて受入れ易い状態とに変換可能な弾球遊技機の入賞装置において、前記ソレノイドは、コイルと、該コイルを支持すると共に、コイルより発生する磁束の磁気回路を形成するフレームと、前記コイルに有する中空部を挿通させて設けられた出力軸と、前記出力軸の端部に取付けられた回転板と、該回転板の外周側と対応するフレームに密着させ、且つ適宜の間隔を存してそれぞれ配置された磁極面の極性が異なる複数個の永久磁石とを備え、前記回転板の回転範囲を規制し、且つ前記各永久磁石の磁気中性点より回転方向にずらせた位置に設けられた回転板ストップを備えたことを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】